

◇王朝の変遷

I 那珂つ国 II 五帝期黄帝の一門(地の神) + 后土の国(黄泉国) ↓福岡平野に都す……前二十四世紀

II 那珂つ国 + 天之国 (太伯・呉王夫差の子孫、天(太陽)や日の神を崇拜)、天地 ……前五世紀中頃

↓福岡平野の那珂川流域に都す

III 巖之国王朝 II 夏后帝小康庶子・越王句踐の子孫、越オロチ族↓福岡平野に都す ……前四世紀後半

一門を各地に策封↓吉野ヶ里(伊都国)、吉備(？)、出雲(佐太国)、摂津(小千族)、奈良盆地(三輪オロチ、三輪氏)、北陸(越のオロチ、越智氏) 那珂つ国を中つ国と改名させ、出雲に追放

IV 倭国王朝 II 天(巖)之國 + 十日高国(韓一門)、高天 ↓唐津湾岸/福岡平野に都す ……前二二〇年頃

V 豊葦原中つ国王朝 II 豊国(漢一門) + 葦原家(巖之國一門) + 中つ国 ……前二世紀後半

↓福岡平野の早良/春日に都す。巖之國本家↓宗家の宗像家に祭り上げられ、玄海・宗像に閉居

VI 伊都国王朝 II 吉野ヶ里のオロチ族 + 大倭家 ……前一世紀中頃

↓吉野ヶ里から福岡平野の春日に乗り込み、糸島平野怡土に都す。豊葦原中つ国を出雲に追放

VII 倭奴国王朝 II 倭(高天) + 豊葦原中つ国、天地 ↓怡土に天宮(天上の都)す ……一世紀前半

倭国大乱 倭奴国王朝↓二つに分裂 ……一八〇年代中頃

副都オロチ勢・豊葦原瑞穂国 倭・日隈・大山祇神ら中つ国勢 豊葦原中つ国

畿内

出雲 素戔嗚↓豊葦原中つ国建て直しに失敗

大己貴(素戔嗚の児) ↓葦原中つ国再建

邪 巖之国王朝 (唐古) 高天 天之国王朝(高千穂宮) 出

馬 天(巖)之国王朝(上之宮) 日隈 日前、妻国、投馬、狗奴 雲

台 日本王朝 (珠城宮) 熊襲 和王朝(高千穂宮) 神武(和王磐余彦) 東征

VIII 大和朝廷 和国と大倭国が一家になった大和家に豊葦原中つ国・日本・巖之國を併合 ……二八五〜二九〇年代末 ……三〇一年